

ロボット推進室現状報告

FA・ロボットシステムインテグレータ協会での活動

ロボット推進室 室長
寺内 宏

FA・ロボットシステムインテグレータ協会（以下 Sier 協会）は本年 7 月 13 日をもって 1 周年を迎えます。当社は創設会員として微力ながらこの一年活動をしてまいりました。創設時は 144 社でしたが 9 ヶ月経過した 5 月時点の会員数は 207 社を数えます。新規会員は毎月増加している状況です。

Sier 協会の具体的活動は 7 つの分科会によって実行されます。

- ①企画・運営分科会 …… 協会の全体像を策定、協会企画総括、各種規定の策定
- ②広報分科会 …… 協会認知向上、リクルート支援活動、各種イベントの検討
- ③経営基盤強化分科会 …… Sier 事業社の基盤強化 保険、事故調査、RIPS 制定
- ④地域連携分科会 …… 地域に密着したビジネスマッチング 地域支部の設置検討
- ⑤技術調査・標準化分科会 …… スキル標準策定、最新技術動向、技術標準化検討
- ⑥人材育成分科会 …… Sier 人材育成に関する資格・育成プログラムに関する検討
- ⑦IoT・AI 分科会 …… 次世代の Sier 技術としての勉強会等の開催計画

分科会の開催は分科会によって異なりますが“Sier's Day”を定期的に全国開催し分科会の議論のフィードバックや Sier 間の交流、セミナーなどを実施しています。

当社は“地域連携分科会”のメンバーとなっています。当会は広島(株)ヒロテックを主査とし活動をしています。当初なぜ広島なのかとの思いがありましたが活動を通して“マツダ自動車”のサプライヤーを中心とした地域のシステム会のまとまりが他の地域に比べ強いことがわかりました。行政機関が強く後押しをするなど広島周辺の Sier ネットワークが強固であることは間違いありません。分科会としては広島をモデルケースとして各地方をブロックに分け支部会を組織することで地域における Sier 企業の掘起しと支援を実施する計画です。Sier は小規模小人数で活動しているため協会加盟に対しても消極的です。

地方支部を設立参加することで負担を軽減し協会活動への積極的参加を見込みます。活動を通じて人材交流や最新技術の取得、事業基盤の安定化などを計ったり技術継承、後継者育成、人材育成などの悩み支援も受けることが可能になるようにしたいと考えます。Sier 技術は多くの需要がありながらも企業規模、経営基盤の不安定さから将来に大きな課題を残しています。これらの課題の一助となると信じ活動を進めていく所存です。

現在は神奈川県、福島県、北海道など多くの自治体でロボットを基軸とした事業活動支援の連携が見られます。小さな連携の和ですが“地域連携分科会”としては全国の Sier 連携ネットワークを早期に構築することを進めています。

当社の役割は、お客様と Sier のマッチングを行うことです。地域のネットワークが出来上がれば お客様の声を早く正確に Sier へ伝えることが可能となります。

拡大するロボット需要に対し当社の役割も重要であることを強く認識する次第です。



不二越 1kg 可搬 MZ01